2015年(平成27年) 9月9日

Elderly Press Newspaper

(毎週水曜日発行)

(株) 高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-6852 (編集部) http://koureisha-jutaku.com 発行人 西岡一紀 年間購読料 21,600円(送料込・税込)

地域の状況踏まえリニューアル

樹

薬樹薬局 展開する薬樹(神奈川県大和市)は7月、川崎市内の「健ナビ えた同社における最先端の薬局として今後の取り組みが注目さ ンした。健康づくり支援のサービスと在宅医療の機能を兼ね備 首都圏で調剤薬局144店舗(2015年8月31日現在)を 鹿島田」の在宅機能を強化し、リニューアルオープ

健康なライフスタイルを サポートする「健ナビ薬 薬樹薬局」、地域住民の 榜する「薬樹薬局」のほ スピーディー

な調剤を標 薬樹は、正確・安全・ 時間365日体制を敷い 薬剤師も2人配置し、24 整えたほか、在宅専門の 置し、嚥下が困難な患者 への注射剤の提供体制を 店舗の半径5キロ以内

樹薬局」、心と身体のみ 4ブランドで店舗展開を ならず地球の健康も含め た生活を提案する

「スロ -スタイル薬樹薬局」の - 、訪問薬剤指導に力を 在宅患者が増え続ける ら在宅医療を推進してい 田店を川崎エリアにおけ 近隣他店舗と連携しなが 店舗でも在宅寮養中の患 る基幹店舗と位置付け、 者宅を訪問する機会は増 している。同社では鹿島 にある同社運営の薬局13

ている。

八れる同社は今回、「健 全144店の内、約2割 置にも積極的な同社では また、管理栄養士の配

の在宅機能を大幅に強 化。クリーンルームを設 ビ薬樹薬局 鹿島田」

施。鹿島田 の店舗で栄 揮してい が職能を発 養指導を実 管理栄養士 の店舗でも

▲処方箋を持たない人の来局も多い やサプリメントの売上も多い る。 進行による の急増や社 在宅療養者 識の高まり 会の健康意 高齢化の

を受け、医師から栄養指 テロール値・血糖値を下 増加している。管理栄養 導を依頼されるケースは げるための食事療法など 士は、肥満解消やコレス

は訪問栄養指導を行う。 者など在宅患者に対して 嚥下機能が低下した高齢 外来・在宅を問わず薬

だ。 が同社の考える医療の形 して患者にかかわること

ランド第1号店として2 009年に開局した「健 「健ナビ薬樹薬局」ブ 剤師と管理栄養士が協力

在宅チーム 航マネジャ



管理栄養士も活躍 予防から在宅まで

で外来患者にかかわり、

ナビ薬樹薬局 鹿島田」

は、これまで地域住民の 面に特に力を入れてき た。薬剤師・管理栄養士 健康に貢献するため予防 し、専用の歩数計を用い

や筋肉量 を測定

内蔵脂肪

で効果を上げている。 食事のプランを計画・実 重の減少や血糖値の改善 行していく。利用者は体 栄養士が面談し、運動や 標を決め2週間毎に管理 析。その結果をもとに目 て毎日の生活習慣を分 活動も積極的に行ってき 画を開催するなど、地域

その予備軍を対象とした 健康面のコンサルティン た人・生活習慣病および グサービスでは、体成分 による内臓脂肪の増加し

より処方箋を持たずに店 隣の地域包括センターや 舗を訪れる人は増加。近 病院が主催する公開講座 このような取り組みに 分析器で また、広い待合室を活

▲投薬コーナーは患者ごとに仕切り、プライバシ ている。 して登壇する機会も増え したことで「訪問薬樹薬

今回、在宅機能を強化

師・管理栄養士が講師と などで鹿島田店の薬剤

る認知症ケア・栄養・乳 用し、地域住民が参加す った」(調剤グループ在 取り組みを行う店舗とな 宅チーム・永瀬航マネジ 当社においても先進的な なサービスを提供できる から在宅医療まで総合的 ことになり、「予防領域 局」の機能も兼ね備える

座や子供の薬剤師体験企 幼児の歯磨きに関する講 もかかわり、予防医学・ も計画している。 健康管理に繋がる運動プ ログラムを提供すること 今後は更に理学療法十

現することだ。 られている薬局の姿を体 ステム構築のために求め 目標は地域包括ケアシ

-発表による一般演題にも注目が集まった

行った。講演・シ 題して基調講演を 向き合うか?」と

ンポジウム・セミ

ス・在宅ケア研究会(神戸 NPO法人日本ホスピ が「自分で決める 政大学・樋口恵子名誉教授 スを促進する新たな地域づ で生きる社会~在宅ホスピ くり~〃がテーマ。東京家 人生の

小室貴之大会長

創る 最期まで「すまい」

忠生名誉総長が

「人はがんとどう

終い方」、国立が

んセンター・垣添

人が参加した。

教授・有識者、市 介護従事者、大学 葉県以来。医療・ シフィコ横浜会議 宅ケア研究会全国 日本ホスピス・在 市) は8月29日 た。関東での開催 センターで開催し ~30日、「第23回 は2009年の千 大会:n横浜」をパ

▲2日間で4000人が参加した大会の様子

今年の全国大会は″共に "最後のすまい"テ 熱い議論

げた。一般演題では末期が 多職種連携など幅 広い内容を取り上 ケア・高齢者施設・ 看取り・在宅緩和 ナーは、命・死・

ん患者のケア・スピリチュ 6年ぶりに関東で開催 介護従事者などが口演・ポ

生・意思決定支援・遺族会 ターミナルケア・多世代共 アルケア・グリーフケア・ スターで発表した。 して「在宅ホスピスを促進 また、新たな取り組みと

などについて全国の医療・ も意欲を見せる。 を通じ、良質なソーシャル・ 向け、今後も全国大会など 生きる社会の普及・促進に 養支援グループ楓の風/代 い異業種のイノベーターを する新たな地域づくり」を い」と話し、今後の活動に 表)は、「最期まで地域で セッションも好評だった。 多数迎えてのリレートー 介護とのかかわりが深くな タイトルに行った、医療・ キャピタルを育んでいきた 小室貴之大会長(在宅寮

7年2月4日~5日、福岡 県久留米市で開催予定。 もの~~をテーマに201 ホスピスケアが忘れてきた け止める町づくり~日本の 次回大会は「いのちを受

医 療 民など約4000